

# 生き物の利用と 生き物との共生社会

人類はその始めから生きるために自然界の産物を利用してきた。しかし、近現代以降のその過剰な利用と開発は、自然界、それを構成する生物多様性の崩壊を招きつつあり、人類が他の「生き物」と共に生きる「共生社会」とは相容れない時代へと突入している。

人間と自然界・生き物との「共生社会」を目指していくためには、どのような手段が必要だろうか。

本講座では、共生社会を目指していくために生態学的礎石種であるが絶滅危惧種となったアフリカ熱帯林に生息するマルミミゾウの事例から考えていきたい。



講師： **西原 智昭** (にしはら ともあき) 教授

星槎大学共生科学部教授  
京都大学出身、理学博士。

人類の起源と本質、地球環境保全や先住民族を問う。  
コンゴ共和国などアフリカ熱帯林にて、野生生物研究  
や森林保全に、先住民族と共に30年間従事。

**開催日時：2023年6月24日(土) 15:30～17:00**

開催方法：オンライン(WebアプリZoomで実施)

申込期間：6月1日(木)～6月23日(金)

対象：どなたでも参加可能です(中高生の参加も大歓迎です)

受講料：1,000円

※一端末で複数のご参加の場合は人数分の受講料が必要となります。

※お支払方法は別途ご案内させていただきます。

申込方法：右記二次元コードまたは星槎大学HPからお申込みください。



申込二次元コード

お問い合わせ先

星槎大学横浜事務局

〒227-8522 神奈川県横浜市青葉区さつきが丘8-80

E-mail: seisakyusyu@seisa.ac.jp (担当窓口)

 **星槎大学**  
SEISA